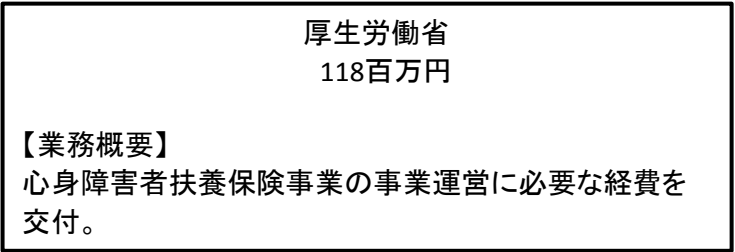


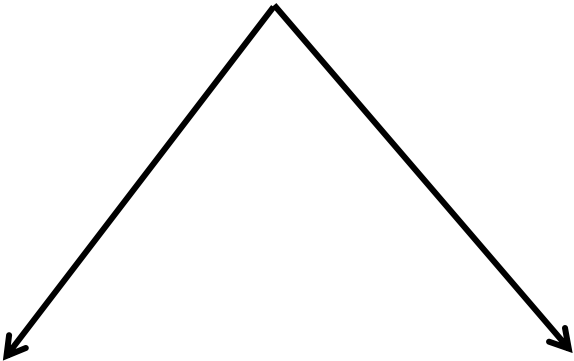
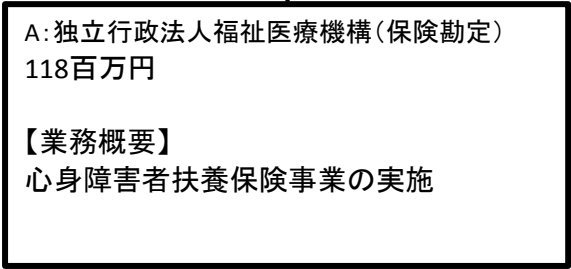
行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		心身障害者扶養保険対策		担当部局庁		社会・援護局 障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始年度		昭和45年度		担当課室		企画課		中島 誠		
会計区分		一般会計		施策名		IV-7-1 障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進する。				
根拠法令 （具体的な 条項も記載）		独立行政法人通則法第46条		関係する計画、 通知等		独立行政法人福祉医療機構中期目標（H20. 2. 29）				
事業の目的 （目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内）		独立行政法人福祉医療機構が行う心身障害者扶養保険事業の業務に必要な財源に充てるために、運営に要する経費を交付しているものである。								
事業概要 （5行程度以 内。別添可）		心身障害者扶養保険事業の事業運営に必要な経費を交付するものである。 交付先：独立行政法人福祉医療機構 補助率：国10/10								
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・ 執行額 （単位：百万円）				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	136	131	118	108	108		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	136	131	118	108	108		
		執行額		136	131	118				
		執行率（％）		100%	100%	100%				
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 （年度）
		心身障害者扶養保険事業の運営に必要な事務費を交付しているものであるため、数値で定量的に指標を示すのは困難。			成果実績	－	－	－	－	－
					達成度	％	－	－	－	
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		各年度の加入者数（延人員）と受給者数（延人員）の合計			活動実績 （当初見込み）	人	合計 138,202	135,065	133,231 （130,003）	— （131,062）
							加入者 93,346	88,394	85,225 （81,856）	— （82,024）
							年金受給者 44,856	46,671	48,006 （48,147）	— （49,038）
単位当たり コスト		885円／1人			算出根拠	117,924,000円（平成22年度執行額） ／133,231人（平成22年度始加入者数（延人員）及び年度始受給者数（延人員）の合計）				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	人件費		66	64						
	一般管理費		7	7						
	業務経費		35	37						
	計		108	108						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		心身障害者扶養保険対策費については、心身障害者扶養保険事業の運営に必要な経費（人件費、一般管理費、業務経費）であるため、成果目標が示せないことから、成果を評価することは困難であるが、経費は必要最低限の合理的なものとなっている。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		本事業は、独立行政法人福祉医療機構が行う心身障害者扶養保険事業の業務に充てる経費であり重要である。また、当該法人については、昨年度の省内事業仕分けにより経費の効率化を図ったところであることから、予算規模を維持すべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

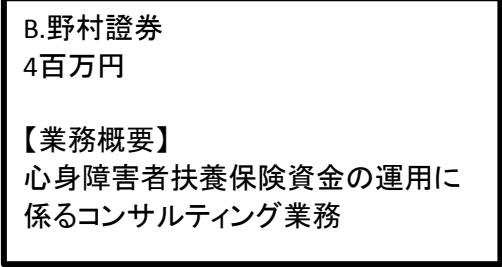
(平成22年度実績)



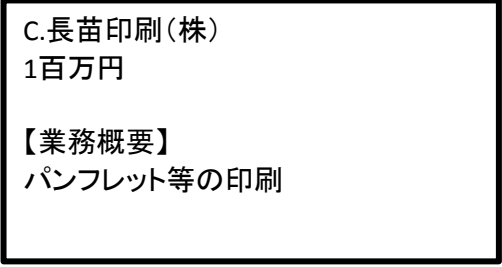
(交付)



(一般競争)



(少額随契)



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.独立行政法人福祉医療機構					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	職員給与、諸手当等	70			
雑役務費	事務所共益費等	11			
土地建物借上料	事務所借料	9			
印刷製本費	パンフレット等印刷料	2			
通信運搬費	事務所電話代等	2			
人材派遣料	扶養保険業務等に係る人材派遣料	6			
その他	その他	18			
計		118	計		0
B. 野村證券					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	心身障害者扶養保険資金の運用に係るコンサルティング業務	4			
計		4	計		0
C. 長苗印刷(株)					
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	パンフレット等の印刷	1			
計		1	計		0
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人福祉医療機構 (保険勘定)	心身障害者扶養保険事業の実施	118		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	野村證券	心身障害者扶養保険資金の運用に係るコンサルティング業務	4	2	83%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長苗印刷(株)	パンフレット等の印刷	1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					